

# 保育だより

2022年 8月号

社会福祉法人いずみ会

幼保連携型認定こども園

つるた乳幼児園

園長 福澤 紀子

北津軽郡鶴田町大字鶴田字相原68-2

電話 0173 (22) 3765

## 「理解し合(愛)う～本物の愛～」

保育教諭 野上 恵未

日差しもひととき強く照り付ける日が続くと思えば、スコールのような激しい雨が降るなど、天候が不安定な日が続いています。

暑い中でも互いに健康に留意しながら日々の教育・保育活動を考え計画を実践しています。しかし、大事なお子様方の命を預からせていただいているという責任もあり、ケガをさせてはいけない、心や体が傷つくようなことがあってはならないと、安全面等が優先になり「ダメ」「危ない」「迷惑をかけないで」と言う言葉での制止が多くなってしまいがちです。これは子どもに日々愛情を注いでいらっしゃる保護者の皆様も同じではないでしょうか。

しかしピュアで何色にも染まっていない子ども達は、まだそんなことは分かりません。ただ思いのままに、楽しいと思ったことを形にしています。私たち大人には一人一人の子どもの姿を理解し、成長しようとする子どもの姿を見守るという、心のゆとりも必要です。

例えば子どもが木登りをしてみたいと言っています。「そんなの危ないからやめて」という人、「あらあら、あんな危ない事させるなんて」と冷ややかに周りで見ている人、「どうしたら登れるかな?」と一緒に考えながら、見守ってくれる人とそれぞれの見方、関わり方があるでしょう。しかし、その子が今、何を想像し、それに挑戦しようとしているのかを考え、その姿が成長の重要な一場面であると理解し接しているのといかないのとでは大きな違いがあるのではないのでしょうか。

子どもは飛び級の発達ができません。スピードは違えども、誰しもが成長の階段を一步一步登って成長しているのです。大人全員

が子どもの発達を理解している事は難しく、時には周りに傷つく言葉をかけられる時もあるでしょう。しかし、私達大人が子ども達のまっすぐな成長に必要な経験を奪ってしまうことがないように、互いに成長し、互いに迷惑をかけ合いながら育つ環境が当たり前になっていくことが、大切で素晴らしい事ではないのでしょうか。

昔は地域のみんなが子どもを見守り子育てに加わっていました。子どもの頃、家族にかけてもらった温かい言葉、祖父母に教えてもらった事、誰かに食べさせてもらった物の味、その時のぬくもりや匂い、その記憶は何にも代えられないもので、大人になった時に、自分の育った社会、環境がこんなにも素敵だったんだと気づいてほしいです。私達の地域にも気軽に声を掛け合えるコミュニティーが残っていてほしいものです。

この夏、園児達は日々泥んこ遊びや水遊びを楽しんでいます。叫び声や汚れを気にするのは大人だけ。子ども達は泥の感触や温度を全身で楽しみ、肌で感じ表現しています。やっちゃダメ、ダメと制止ばかりの子どもは自身がなくなり、自己肯定感を育めないそうです。ちょっと、はしゃぎ過ぎても、泥んこで汚れても、日々のお洗濯が大変でも、そこから子どもが心と体を使い、楽しみ、学ぶことが出来れば100点満点です。

保護者の皆様には本園の教育・保育活動にご協力いただきありがとうございます。保護者の皆様、地域、園が共に手をとり合って、子ども達がしっかりと成長できるように本物の愛を持って照らしてあげたいとおもいます。

## ◆ 報 告 ◆

◎総合非常災害消火避難訓練 7月5日(火)  
給食室から火が発生したと想定し、全員が駐車場に避難しました。その後、園庭にもどり、訓練用の消火器を使い、職員が消火訓練をしました。

◎水害避難訓練 7月21日(火)  
一斉メールを使い、保護者への連絡訓練を行いました。

◎夏まつりウィーク

- ・12日(火) 園内にて、出店風ランチを楽しみました。
- ・14日(木) 5歳児から2歳児の子ども達でねぶた運行を行いました。(写真)
- ・15日(金) 夏まつり (写真)  
あいにくの天気とコロナ感染を考え、かなりやのみ園内で行いました。打ち上げ花火も天候を見ての実施予定でしたが、見事に50周年記念の花火を上げる事ができました。



## ◆ 予 告 ◆

- ◎父母の会役員会 9月2日(金)
- ◎運動会 9月10日(土)
- ◎保育学校 9月16日(金)
- ◎秋の遠足 9月21日(水)

## ● 子育て支援センターより ●

◎リフレッシュタイム 8月3日(水)

